

医療をすべての人に

国連 普遍的な“権利”へ宣言

【「ヨーローク」右 黒みすぼ】ニューヨークの国連本部で21日、「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」(UHC)をテーマに、首脳級会合が行われました。UHCとは、「すべての人が、適切な医療サービスを、必要なときに、支払い可能な費用で受けられる状態」を指す言葉で、2030年までに実現すべき国連の重要な目標となっています。会議では、「最良の医療を受けるすべての人の権利」の表現へ各国政府

が大胆な取り組みや必要な財政投資を行うとした政治宣言を採択しました。

国連総会のフランスス議長は「新型コロナのパンデミックは、人々の健康が健全な社会・経済の基礎であることを示した」と指摘。自己負担の増加が事前に防げた病気などにより死していると告発。UHCの実現で推定6000万人の命を救えると述べ、「医療は人権であるだけでなく、社会発展のための手段となる」と強調しました。

妊婦、1万4000人の5歳以下の子どもが、ヨハンソン欧州委員（内務）は「UHCを公平で持続可能なものにするためには、性と生殖に関する健康が前提条件だ」と強調。最

長は、毎日800人の歐州連合(EU)の

カリブ共同体を代表して発言したセントク

れる世界をつくります」と呼びかけました。

世界保健機関(WHO)のテドロス事務局長は、

ヨハンソン欧州委員（内務）は「UHCを公

にするためには、性と生殖に関する健康が前

提条件だ」と強調。最

も弱い立場におかれ支

援も行き届かない人々

リストファー・ネビス

のドリュー首相は、2

019年に高額の医療費により世界人口の4

・4%が極度の貧困状

態に陥ったと述べて、

深い懸念を表明。発展

途上国への財政・技術

面での支援を高めるた

めの協力を呼びかけま

した。

自己負担軽減や途上国支援を